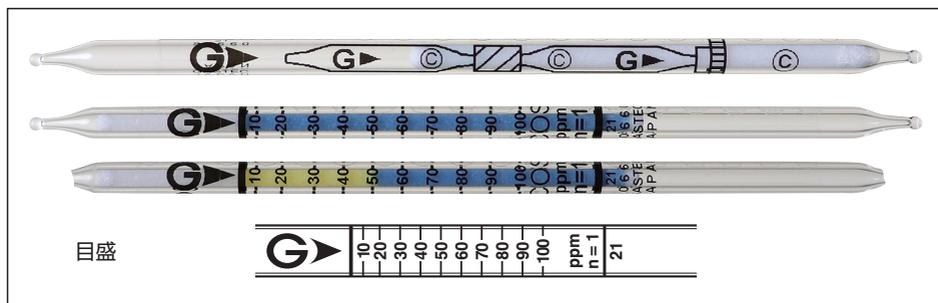


# 硫化カルボニル COS

No.21

Carbonyl sulfide



## 仕様

測定範囲	5 ~ 10 ppm	10 ~ 100 ppm	100 ~ 200 ppm
吸引回数	2回 (200mL)	1回(基準) (100mL)	1/2回 (50mL)
係数	1/2	1	2
測定所要時間	6分	3分	1.5分

検知限度： 1 ppm (2回吸引)

変色： 青色 → 黄色

温・湿度補正： なし

有効期間： 30 か月 冷蔵庫保存 (10℃以下)

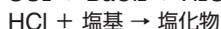
変動係数：

G	CV=10%	CV=5%
	目盛範囲の1/3	目盛範囲の2/3

(CV：変動係数 =  $\sigma$  : 標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

## 反応原理

硫化カルボニルは二酸化イオウに酸化され、塩化バリウムと反応して塩化水素を生成し、指示薬は黄色を呈する。



## 干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
ブタン, プロパン	5000ppm以上	-	変色しない
二酸化イオウ, 二硫化炭素		+	黄色に変色

除去剤：500ppm以下の硫化水素を除去する。

## 校正用ガス

高圧ガス容器詰法